

平和、くらしを守る **日本共産党** の代表へ

「戦争か、平和か」。日本の進路の転換期です。日本共産党の代表は、金沢から平和とくらしをこわす岸田大軍拡「ノー」の声をあげ、切実なくらしの願いに応えます。子どもや孫たちには平和な未来を残します。

子育て3つのゼロ

1 学校給食費ゼロ

県予算の0.8%、約50億円程度の市町支援で全県の学校給食費を無料にできます。

2 18歳まで医療費を完全無料に

県の助成対象年齢を中学校卒業までに拡充。県の自己負担制度を廃止すれば、金沢市も完全無料化できます。

3 子どもの国保料ゼロ

子ども「均等割」負担(約3億円程度)を免除します。



財源は

県予算の使い方の優先順位を切りかえ、自由に使える基金(貯金)の一部を使います。

高物価からくらしと営業を支えます

高齢者の生活を支援

- ・介護保険料・利用料負担を軽減、介護慰労金など在宅介護支援
- ・加齢性難聴者への補聴器購入費助成

最も効果的なくらし応援

- ・消費税5%に減税! インボイスを中止
- ・中小企業を強力に応援!
石川の最低賃金891円を1500円へ
- ・年金削減ストップ! 年金者に年10万円追加支給を提案
- ・コロナ感染症の検査・治療・予防接種の公費負担を継続

大学・専門学校の学費を半額に 入学金をゼロ

お金の心配なく学べるよう、学生の願いを県政にいかし、支援します。

ジェンダー平等を実現する政治

- ・女性、シングルマザーの貧困を根絶
- ・パートナーシップ条例の制定

岸田大軍拡、ゴメンです

岸田政権の「敵基地攻撃能力の保有」——「専守防衛」を投げ捨て、自衛隊が米軍と一体化して、相手国を先制攻撃できる道に踏み出そうとしています。そのため、今後5年間の軍事費を43兆円に増やす方針です。

日本が攻撃されて
いなくても

報復攻撃で
日本全土が戦火に

自衛隊の内部文書には反撃を想定し、全国283地区の基地・施設の「強靱化」を進める計画を明記。その結果として、攻撃されていなくても報復を招き、日本全土の戦場化が想定されています。

県民の命を脅かす 県内自衛隊の基地・施設「強靱化」

航空自衛隊小松基地、陸上自衛隊金沢駐屯地などの基地も報復攻撃の的になり、住民の命が危険さらされます。

いま必要なのは対話の外交努力 東アジアに平和の枠組みを

大軍拡は直ちにストップ。ASEAN(東南アジア諸国連合)の対話による平和の枠組みづくりを、中国やロシアなどを包み込んだものに発展させます。その枠組みをいかしながら、対話による平和外交で東アジア地域の平和と安定を実現します。

国会論戦でも
野党外交でも



4月9日
大事な選択の日
地方政治に取り組む議員
の仕事が問われています

あなたの願いに応えるのはどの人、どの党？

住民の声を届け、政治を動かす

日本共産党

日本共産党議員

日本共産党議員は、「住民本位の地方政治」の実現めざし、住民の願い届け、行政と議会をチェックする議員の仕事に全力をつくしています。

VS

自民・公明など「オール与党」

こんな態度で、県民のくらしと平和を守ることができるでしょうか。

草の根で力あわせ、子育て願い前進

子どもの医療費助成が窓口無料に

自民・公明は、県の子ども医療費助成の改善求める県議会請願を何度も否決。新婦人の会など、草の根の署名運動とシャープな県議論戦で県政を動かし、昨年、小学校就学前までに拡充。市町は窓口無料化をすすめています。

国にさきがけて県独自の少人数学級実現

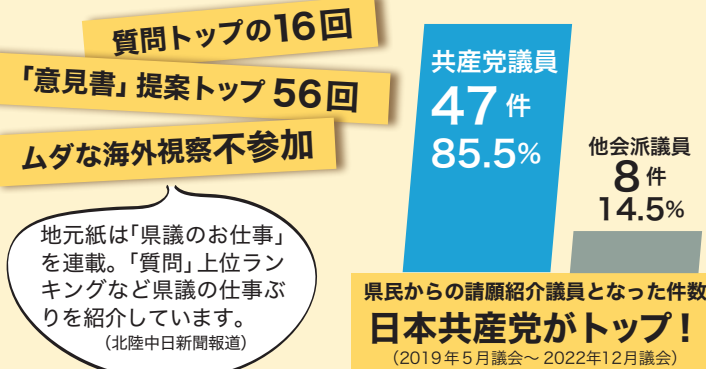
父母と教師の声を届け、少人数学級の実現求める請願紹介議員に7回。国に先駆けて「実施せよ」の建設的な提案が、小学校5・6年生の35人学級実現に実りました。



国の悪政から住民を守る防波堤

原発回帰の暴挙ストップ！ 原発ゼロへ

石川県の再生可能エネルギー潜在能力は、現在の県電力使用量の3.5倍。原発推進を地方に押し付ける岸田政権の「原発回帰」の暴挙に反対し、原発ゼロへ。志賀原発廃炉、再生可能エネルギーへの転換を求め続けています。



大企業・コマツ1社のために「税金投入」に賛成

金沢港大浜に堆積する流砂を取り除き、掘削するしゅんせつ工事費

小松・白川連絡道路建設計画

17分間短縮するための高規格道路建設の調査費も「ノー」チェック。



コロナ化で苦しむ県民からの請願を否決

件名	共産	自民	公明	未来	参政
コロナ禍による米価下落対策を求める (2021年11月議会)	○	×	×	×	×
介護保険制度の改善を求める (2022年12月議会)	○	×	×	×	×

(○=賛成、×=反対)

敵基地攻撃能力(反撃能力)の保有に

共産党議員 絶対反対 VS 自民・公明・他党派議員 賛成

件名	共産	自民	公明	未来	参政
敵基地攻撃能力保有などの施策中止を求める意見書 (2022年5月議会)	○	×	×	×	×

(○=賛成、×=反対)

共産：討論で意見書の提案理由を述べる。

自・公・他党派議員：態度表明の討論なし。

大手メディアの日本共産党バッシング

「反共は戦争前夜の声」 故蜷川虎三・京都府知事

本来、メディアの役割は権力を監視することです。一部大手メディアは、日本共産党に「異論を許さない」「自由のない党」と、バッシングを続けています。戦前、「反戦・平和」を主張する共産党を犯罪者扱いにして、政府と一体で戦争を推進。「反共」大合唱は戦争の前触れ—歴史の教訓です。

「住民の苦難解決」が立党の精神。「反戦・平和」つらぬいて101年。日本共産党を大きく伸ばしてください。